

(資料5)

評価項目	5 大学・企業等との連携、外部資金の導入、受託研究への対応に関すること
当センターの状況 (概要)	<p>大学、企業等との効果的な連携の実施について、共同研究機関は県内だけでなく、国内外にわたっている。</p> <p>積極的な競争的資金への応募について、当センターでは試験検査業務が業務全体の約8割を占めることから、競争的資金の応募は業務負担が大きくなるため、国の事業を分担したり、他の研究機関の共同研究者となるなど、競争的資金以外の方法で、外部資金の確保に努めている。</p> <p>受託研究への十分な対応について、環境エコ調査などは平成13年から現在まで継続していること、韓国との共同研究も平成24年度に契約を更新する予定であることから、受託研究への十分に対応できている結果であると考えている。</p>
評価結果/評価の視点	<p>○総合評価 A 適当(0人)・B 要改善(5人)・C 不適当(0人)</p> <p>○評価コメント</p> <p>(1) 大学、企業等との効果的な連携の実施</p> <ul style="list-style-type: none">・テーマが合えば大学との共同研究をさらに進めるべきです。・まだ更なる連携は可能と思います。・大学、企業との連携は適切に実施されている。・企業等の連携の範囲と方針を示す必要がある。 <p>(2) 積極的な競争的資金への応募</p> <ul style="list-style-type: none">・県の財政状況から競争的資金の獲得にさらに努力すべきです。・環境分野は広範であるので外部資金の獲得先も広いと思われます。他の機関との更なる連携出願を期待します。・競争的資金の獲得にはさらに努力が必要である。・競争的資金の獲得に関しての研究センターの方針を確立する。 <p>(3) 受託研究への十分な対応</p> <ul style="list-style-type: none">・成果は十分に出していると評価します。・受託研究が可能な分野が多々認められることから、更なる受託研究の獲得が望まれる。
センターの対応方針	<p>当センターでは試験検査業務が業務全体の約8割を占めることから、単独での競争的資金の応募・活用は研究員の負担が大きくなるため、国の事業を分担、または他の研究機関の共同研究を行うなどの方法で、外部資金の確保と適正運用に努めていきます。</p> <p>当センターの研究の連携先は国内外にわたっており、このシーズを活かして今後とも更なる試験研究の連携を目指します。</p>